

## 4. 試験・成績

### ◆試験 (単位認定規程参照)

試験期間は下記のとおりです。

前期試験・・・7月下旬～8月上旬

後期試験・・・1月下旬～2月上旬

・試験の時間割は、試験開始の1週間前までに掲示及び「九州大谷Online」にて発表します。

・発表後の試験時間割は訂正・変更の場合がありますので、毎日確認してください。

・通常授業内にて試験を実施される科目の場合は、授業中に担当者より指示されます。

・試験の方法は、授業科目によって異なります。

筆記試験・口述試験・実技試験・論文・レポート等課題提出並びに平常の成績等

### ◆受験資格

次のいずれかに該当する場合は、定期試験を受ける資格を失います。

下記に該当する者が受験しても、単位は認められません。

・定められた納付金について、滞納があるとき。

・授業科目の履修登録をしていないとき。

・履修している授業科目の出席回数が、実授業の3分の2に満たないとき。

### ◆受験上の注意

#### (1) 筆記試験

試験実施にあたって、試験監督の指示された事項を遵守してください。

##### ●席順

・着席の順番は、教壇に向かって左前列から後方へ学籍番号順とし、左右を一席分空けます。

##### ●学生証の提示

・学生証を机の上の見えやすい位置に置きます。忘れた者は、すぐに事務室で仮学生証の発行手続きをしてください。

##### ●不正行為について

・カンニング等の不正行為を行った場合、その期の全科目を0点とし、相応の処分がなされます。

##### ●持ち物について

・机の上には、持ち込み許可がある場合を除き、学生証、筆記用具、消しゴム、時計以外は置かないでください。

・荷物は全て蓋の閉まるバッグ等に入れ、資料等が見えないようにしてください。

・机の中に、テキストやノート・資料等は置かないでください。

・学生同士の物品（消しゴムや許可された資料）の貸し借りは禁止です。

・携帯電話のスイッチは切り、バッグに入れてください。2回以上呼び出し音が鳴った場合は、不正行為とみなします。

・腕時計型携帯情報端末（スマートウォッチ、アップルウォッチ等）の使用は、不正行為とみなします。

##### ●試験時間の入退出について

・試験に遅れた場合、試験開始後15分以内に限り受験を認めます。

・許可された以外の退出は、「試験放棄」とみなします。

## (2) レポート試験

レポート提出にあたって、授業担当者の指示された事項を遵守してください。

●表紙を1枚つけ、必要事項を記入してください。

下記記入例を参照【題名・授業科目名・担当者名・学科(コース)・学籍番号・氏名】

●黒のペンまたはボールペンを使用してください。鉛筆やカラーインクは認められません。

●2枚以上のレポートはバラバラにならないように、ホッチキスで横書きの場合は上に、縦書きの場合は右に、それぞれ1ヶ所もしくは2ヶ所綴じてください。

●提出先を間違えてると提出期限に間に合わない場合がありますので、気をつけて提出してください。

・提出先が授業担当者の場合は、提出方法(提出先)を担当教員に確認しておいてください。

・提出先がレポートボックスの場合は、本館事務室入り口に設置します。

・提出期限(日時)・提出先及び上記の事項が1つでも守られていない場合は受付られないので、注意してください。

### 【表紙記入例】

横書きの場合 ①1ヶ所もしくは②2ヶ所

①

②2ヶ所

「題名」

授業科目名  
授業担当者名

学科(コース)  
学籍番号  
氏名

縦書きの場合 ①1ヶ所もしくは②2ヶ所

①

②2ヶ所

「題名」

授業科目名  
授業担当者名

氏名  
学籍番号  
学科(コース)

## ◆成績発表

定期試験の結果は「おおたにナビ」で確認できます。

## ◆追試験

病気・忌引き・進学試験等やむを得ない理由により、定期試験を受けられない学生は、所定の手続きをすることにより、追試験を受けることができます。

追再試験を受ける場合は、所定の「追試験願」「試験欠席届（各証明書を添付）」を提出してください。

追試験は、定期試験終了後に期日を決めて1回限り行います。期日は掲示及び「九州大谷Online」にて発表します。成績評価は、定期試験と同様です。

## ◆再試験

定期試験不合格者および、正当な理由がなく未受験（レポート未提出）の場合、当該学科の許可を得て1回限り実施します。

再試験を受ける場合は、試験前日までに、所定の「再試験願」「試験欠席届」を提出してください。

再試験の受験料は1科目につき1,500円です。

再試験は、定期試験終了後に期日を決めて1回限り行います。期日は掲示及び「九州大谷Online」にて発表します。再試験で合格した場合の成績評価は「C」となります。

## ◆成績評価

評価	判定
S (100~90)	合格
A (89~80)	
B (79~70)	
C (69~60)	
D (59以下)	不合格

「受験資格喪失（出席回数不足）」および試験の無断欠席・レポート等課題未提出の場合は、合否判定の対象外となります。（単位認定規程参照）

●定期試験を受験

- 合格  S ·  A ·  B ·  C
- 不合格  D → 再試験 →  C ·  不

●試験を欠席  
課題を未提出

- 追試験（正当な理由あり） →  S ·  A ·  B ·  C ·  不
- 再試験（正当な理由ない） →  C ·  不
- 欠席届が無届（正当な理由ない） →  不

●出席回数不足 — 受験資格喪失

## ◆GPA制度とは

GPAとは「Grade Point Average」の略です。

授業科目ごとの成績評価を、例えば5段階（A、B、C、D、不）で評価し、それぞれに対して、4、3、2、1、0のように数値（グレード・ポイント：GP）を付与し、この単位あたりの平均（グレード・ポイント・アベレージ：GPA）を出します。

履修した科目がオール「S」だった場合は、「4.0」がGPAとなります。

GPAは、セメスター（半期）ごとに計算し、各期末に配布する「個人成績一覧」に表記します。

GPAを利用し成績が算出されることにより、セメスターごとの学修成果と推移が明確となり、各自の履修状況の確認が容易になります。

各成績評価は以下のGP値で計算を行いません。

評 価	GP 値
S : 100-90	4
A : 89-80	3
B : 79-70	2
C : 69-60 (再試60)	1
D : 59 以下	0
喪 (受験資格失格)	0
欠 (試験欠席または放棄)	0
不 (不合格)	00

計算方法：
$$\frac{(Sの単位数 \times 4) + (Aの単位数 \times 3) + (Bの単位数 \times 2) + (Cの単位数 \times 1)}{総履修単位数}$$

- ・単位振替科目「振」および単位認定科目「認」の科目は、計算に含めません。
- ・再履修して修得した科目の不合格時の単位は、総履修単位合計に含めません。
- ・やむを得ず履修を取り消す場合は、履修登録変更期間内（前期4月中旬、後期9月中旬）で取り消し可能です。その際、取り消した科目は計算に含めません。

## ◆再履修

卒業や資格取得に必要な科目の単位が認められなかった場合、当該学科担当者の指示を受けて再履修しなければなりません。すぐに事務室に相談してください。